



Asahi Biocycle Co., Ltd.

アサヒバイオサイクル株式会社



バイオのチカラで未来を創る。

Micro insight Macro foresight

ごあいさつ

「アサヒバイオサイクル」は、アサヒグループの長年の研究で培った酵母・乳酸菌・枯草菌などの有用微生物活用技術や発酵技術の応用で、安全・安心な食の川上の分野（農業・畜産業）、及び、持続可能な暮らしに関わる分野（公共施設の緑化、土壌改良など）でグローバルに事業を展開しております。

アニマルニュートリション事業は、世界約40ヶ国で畜産用プロバイオティクスを販売し、動物の腸内環境を整えることで飼料効率を高め、安全・安心で美味しい畜産品の生産に貢献しております。また、畜産業を取り巻く環境問題、世界の食糧問題、薬剤耐性菌問題などの社会課題解決へも取り組んで参ります。

アグリ事業は、ビール酵母細胞壁に着目し、特殊な加工技術で開発した肥料原料を農業分野で活用し、農作物の生産性や品質向上を実現しながら、併せて農業使用量の低減やCO₂の削減効果も期待されております。加えて、野球場、公園、学校、ゴルフ場などの芝生の緑化対策向けに販売し、人々の安全で豊かな暮らしの実現に貢献しております。

環境事業は、微生物発酵の力で食品廃棄物を再資源化する堆肥化促進材を販売し、食品資源の循環活用を推進することで、循環型農業の拡大や環境負荷低減に取り組んでおります。さらに、微生物の新たな価値と用途を創出し、サーキュラーエコノミーの構築に貢献して参ります。

「アサヒバイオサイクル」は、お客様の「期待を超えるおいしさと、楽しい生活文化の創造」に向けて、アサヒグループのバイオテクノロジーが生み出すイノベーションを、「三方良しのCSV事業」として発展させていくことに社員一丸となって努力して参る所存です。



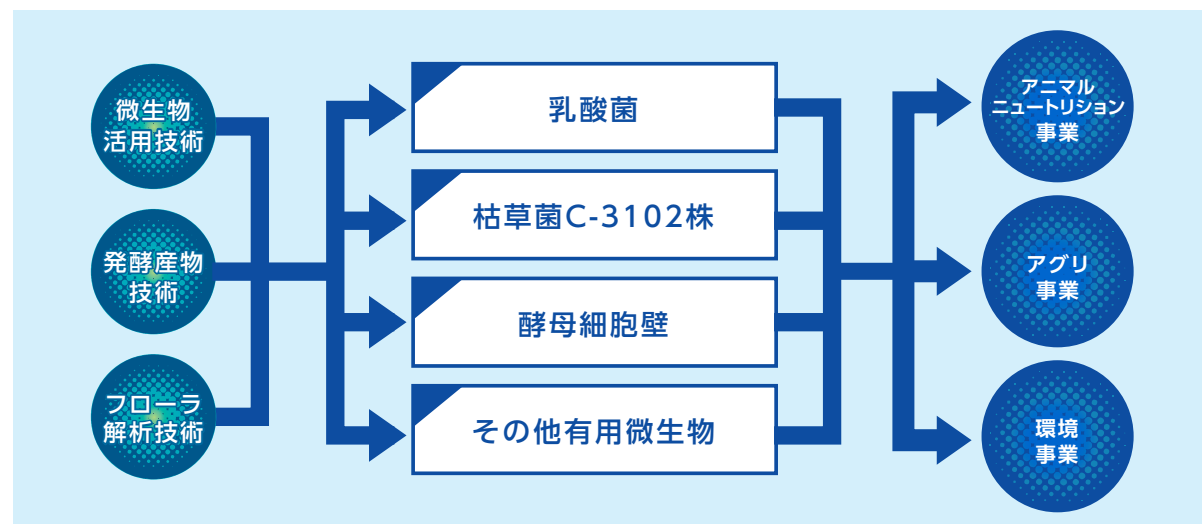
代表取締役社長

千林 紀子



コアコンピタンス

アサヒグループの技術や、乳酸菌飲料「カルピス」の研究に由来する素材、技術を活用した高付加価値の商品・情報をお客様にお届けします。



■ 会社概要

社 名	アサヒバイオサイクル株式会社
本社所在地	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-4-1
電 話	03-6412-3277（代）
設 立	2015年（平成27年）
資 本 金	1,000万円
株 主	アサヒグループホールディングス株式会社
代 表 者	代表取締役社長 千林 紀子
従 業 員 数	113名

■ 沿革

1986年
「カルスポリン」発売

2012年
飼料事業米国現地法人カルピスアメリカ社（CALPIS AMERICA, INC.）設立

2013年
飼料事業中国現地法人設立

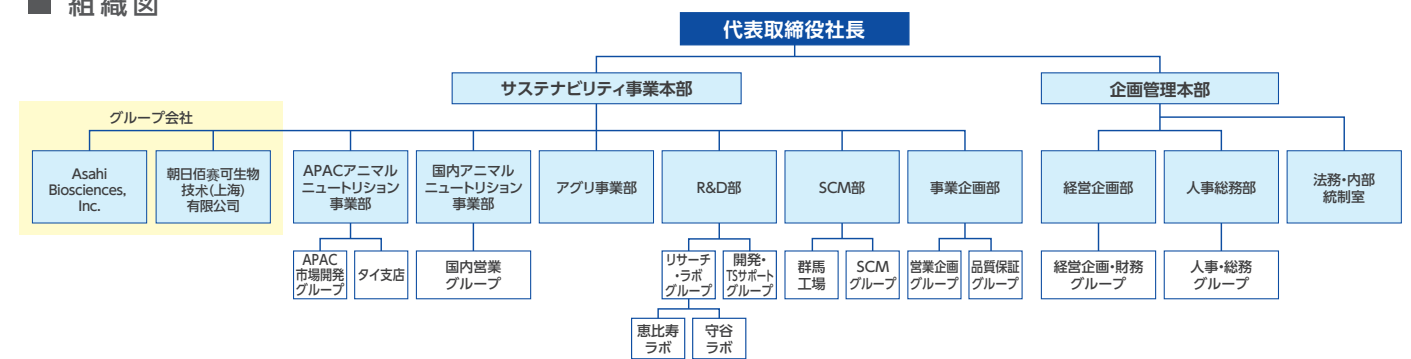
2015年
アサヒグループホールディングス（株）の100%子会社として、カルピス（株）機能性食品（通信販売・素材）事業および飼料事業を継承するアサヒカルピスウェルネス株式会社を設立

2018年
飼料事業タイ支店設立

2020年
飼料事業とアサヒバイオサイクル（株）を統合し、アサヒバイオサイクル株式会社に社名を変更

2024年
米国および中国現地法人のグループ会社を社名変更
アサヒバイオサイエンス社（Asahi Biosciences, Inc.）
※旧: CALPIS AMERICA, INC.
アサヒバイオサイクル上海社（朝日佰賽可生物技术（上海）有限公司）
※旧: 朝日可尔必思健康管理（上海）有限公司

■ 組織図



■ 事業展開エリア

「カルスポリン」は世界60ヶ国以上での許認可、世界約40ヶ国での事業を展開しています。



■ 事業所・グループ会社一覧

本 社	／ 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-4-1	工 場	／ 群馬工場 〒374-0072 群馬県館林市大新田町166
研 究 所	／ 恵比寿ラボ 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-4-1 守谷ラボ 〒302-0106 茨城県守谷市緑1-1-21	海 外 支 社	／ タイ支店 United Center Building 4 FL, Unit 406, 323 Silom Road, Bangrak, Bangkok 10500, Thailand
グループ会社	／ Asahi Biosciences, Inc. 455 Dividend Drive, Peachtree City, GA 30269, U.S.A. 朝日佰賽可生物技术（上海）有限公司（ASAHI BIOCYCLE（SHANGHAI）CO., LTD.） 中国 上海市徐汇区桂平路333号 4号楼202室 郵編:200233 （Room 202, Building 4, No.333 Guiping Road, Xuhui District, Shanghai, China, 200233）		

アニマル ニュートリション事業

安全で安心なおいしい畜産物を世界の食卓に



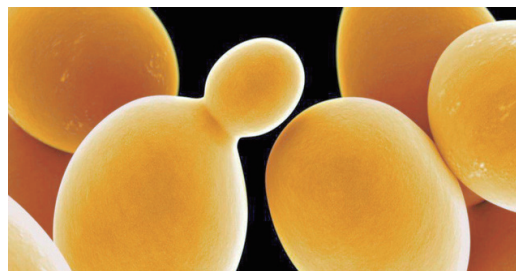
乳酸菌飲料「カルピス」の研究で培われた乳酸菌や、発酵乳活用技術を活かした腸内フローラと腸内菌研究から開発された商品を世界中に展開することで、家畜やペットの腸内環境改善に貢献し、生産者の方々をサポートするとともに、その先の笑顔あふれる食卓も見つめています。

微生物の力で家畜を効率良く育てる技術を提供

世界的に安全・安心な畜産物へのニーズが高まる中、畜産業界は、極力抗生物質を使用しない畜産物生産への対応を迫られています。こうした背景のもと、家畜を健康に育てることができ、飼料を効率よく利用できる「カルスポリン」をはじめとする当社製品は、海外の畜産関係者からも注目されています。飼料添加物「カルスポリン」は、日本に限らず海外での試験においても、家畜の成長効果が高く評価され、国内外の大手食肉生産会社にも採用されています。生産者の方のお役に立ちながら、その先の消費者の皆様が安心しておいしい肉や卵などを楽しめるよう、技術的なサポートを含めた営業活動をグローバルに展開しています。

アグリ事業

ビール酵母細胞壁を活用し、持続可能な社会へ貢献



ビール製造の副産物であるビール酵母を有効活用し、「ビール酵母」の細胞壁が持つ植物の免疫力を引き上げる力に着目し、特殊な加工技術で開発した食品原料由来の農業資材を展開し、安定した農作物生産や施設の緑化に貢献するとともに、温室効果ガス排出削減などの環境・社会的課題の解決を通じ、持続可能な社会の実現に貢献しています。

ビール酵母細胞壁の力で環境保全型農業を構築

アサヒグループは「中長期経営方針」において、「おいしさ楽しさで“変化するWell-being”に応え、持続可能な社会の実現に貢献する」を掲げており、ビール製造過程で発生する副産物の最大限の活用に取り組んでいます。こうした背景のもと、開発された「ビール酵母細胞壁」由来の農業資材は、天候不順による悪環境下における安定した農作物の生産や品質の向上、ゴルフ場や公園施設などの健全な芝育成・管理への貢献を通じ、農業や芝管理に携わる方々をサポートしています。本資材を用いた技術革新により、水田転作地や耕作放棄地を活用した、地域振興等の新たな取り組みに役立てるよう、また施設の緑化を通じて、施設を管理する方々のお役に立ちながら、施設を利用するすべての人々の安全・安心にも貢献できるよう、技術的なサポートを含めた営業活動を展開しています。

環境事業

微生物活用技術で循環型社会の構築に寄与



地球環境との共生を目指し、乳酸菌飲料「カルピス」の研究を由来とする乳酸菌や腸内細菌の研究をベースに、微生物の新たな価値と用途を創出し、食品資源の循環活用を推進することで、環境負荷低減に取り組んでいます。



微生物発酵の力で食品資源を 効率良く堆肥化する技術を提供

食品廃棄物は飼料・肥料等への再生利用や熱・電気に転換するためのエネルギーとして利用できる可能性があり、日本では循環型社会及び低炭素社会の実現を目指すため、食品資源の再生利用等の促進について「食品リサイクル法」等により、その利活用が推進されています。枯草菌「C-3102株」を含有する堆肥化促進材「サーベリックス」は、微生物発酵を利用することにより、食品廃棄物の効率的な減量化や良質な堆肥化、堆肥の施用による農作物の収量増加が注目されています。「サーベリックス」の活用が進むことにより、減量化による食品廃棄物量の削減を通じた環境負荷低減とともに、堆肥を利用した有機農業が推進され、食品リサイクルの推進と循環型社会形成に貢献できるよう事業を展開しています。





アサヒバイオサイクル株式会社

<https://www.asahibiocycle.com>

